

- 問1 1587年、九州平定を終えた豊臣秀吉が、キリスト教の宣教師に対して国外への立ち退きを命じた法令を何といいますか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
1. 武家諸法度 2. 公事方御定書 3. バテレン追放令 4. 禁教令
- 問2 安土桃山時代に栄えた桃山文化は、大名や豪商の勢力を背景とした豪華で壮大な特色を持ちます。この時代の代表的な建築様式で、城郭の中に居住空間としての機能を取り入れ、和紙を用いた襖（ふすま）や障子（しょうじ）に壮麗な障壁画が描かれた様式を何と呼びますか。 (2021年 京都府公立入試 類似)
1. 寝殿造 2. 書院造 3. 校倉造 4. 権現造
- 問3 16世紀後半の歴史的事項を記した年表において、織田信長の後を継いで全国を統一し、一律の基準で土地を測量する「太閤検地」や、一揆の防正を目的とした「刀狩」を実施した人物は誰ですか。 (2019年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 足利義満 2. 織田信長 3. 徳川家康 4. 豊臣秀吉
- 問4 16世紀のヨーロッパでは、ローマ・カトリック教会の腐敗を批判し、信仰のあり方を問い直す大きな運動が起こりました。ドイツのルターが免罪符（贖宥状）の販売を批判したことから始まったこの運動の内容と影響について説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
1. フランスにおいて、市民が絶対王政を倒して人権宣言を発表し、キリスト教を国教から除外する政治改革が行われた。
2. ルターが聖書を信仰の唯一のよどころとするよう説き、この動きはやがてプロテスタントと呼ばれる新教の誕生につながった。
3. カトリック教会の権威を高めるために、教皇の呼びかけで聖地エルサレムを奪還するための軍隊が派遣された。
4. ルネサンスの精神に基づき、キリスト教の教えを一切否定して、科学と理性のみを信じる世俗的な社会が形成された。
- 問5 近畿地方の大坂（現在の大阪府）を拠点として天下統一を成し遂げ、全国の田畑の面積や収穫量を調査する「太閤検地」や、農民から武器を没収する「刀狩」を行った人物は誰か。 (2025年 北海道公立入試 類似)
1. 豊臣秀吉 2. 足利義満 3. 徳川家康 4. 織田信長
- 問6 南蛮貿易において、日本が中国産の生糸を輸入する際の対価として、大量の「銀」が輸出された経済的な背景を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。 (2021年 山口県公立入試 類似)
1. 当時の日本国内では貨幣として銀を使用することが禁じられており、国外へ出すしかなかったため。
2. 当時の日本には絹織物を作る技術が全く存在せず、生糸を輸入するために銀を全量放出したため。
3. 当時の中国（明）では、税を銀で納める制度が普及し、銀の需要が非常に高まっていたため。
4. ポルトガル人が日本産の金や銅の品質を認めず、銀による支払いのみを要求したため。
- 問7 10世紀の瀬戸内海での反乱、鎌倉時代の上皇による挙兵、室町時代の将軍の跡継ぎ問題による戦乱、安土桃山時代の天下分け目の戦いという4つの出来事を、発生した時期の古い順に正しく並べたものはどれですか。 (2017年 岩手県公立入試 類似)
1. 承久の乱、応仁の乱、藤原純友の乱、関ヶ原の戦い
2. 承久の乱、藤原純友の乱、応仁の乱、関ヶ原の戦い
3. 藤原純友の乱、承久の乱、応仁の乱、関ヶ原の戦い
4. 藤原純友の乱、応仁の乱、承久の乱、関ヶ原の戦い
- 問8 16世紀後半の安土桃山時代に行われた、豊臣秀吉による「文禄・慶長の役」の背景や経過に関する説明として最も適切なものを次から選びなさい。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
1. 元寇による被害への報復として、九州の大名を動員して高麗へ侵攻した
2. 明の征服を目指して大陸へ出兵したが、秀吉の病死により撤退した
3. ポルトガル人による鉄砲伝来をきっかけに、種子島を領有するために開始された
4. 平清盛が始めた宋との貿易を再興するため、朝鮮半島との国交を求めて行われた
- 問9 太閤検地によって確立された、当時の社会の仕組みやその目的についての説明として正しいものを次の中から選びなさい。 (2017年 富山県公立入試 類似)
1. 全国の度量衡（ものさしや枴の単位）を統一するのではなく、各地の慣習に合わせた石高を算出させることで、地方大名が自律的に領地を経営することを奨励した。
2. 農民が自由に土地を売買したり、別の土地へ移住したりすることを法律で全面的に禁止し、石高に影響が出ないように農民を厳しく土地に縛り付けた。
3. 石高の基準を、実際の収穫量ではなく、農民が所有する家財や牛馬の数に基づいて計算することで、農業以外の副収入も課税対象とした。
4. 一筆の土地につき一人の耕作人を検地帳に登録する「一地一作人の原則」により土地の権利を確定させ、荘園領主などの中間搾取を排除して年貢を確実に徴収することを目指した。
- 問10 大航海時代にヨーロッパ人が来日した背景について、当時の国際情勢や貿易の仕組みに触れた説明として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 中東地域を支配していた勢力が貿易を仲介し、価格を釣り上げていたため、その仲介を排除して直接取引を行うことを目指した。
2. 日本で大量に産出されていた銀を主な決済手段として用い、アジア全域をキリスト教徒のみの居住区にする計画を実行するため。
3. 琉球王国が独占していた東南アジアとの中継貿易を破壊し、ヨーロッパの特産品である羊毛を日本へ直接輸出するため。
4. 十字軍の遠征が失敗したことにより、キリスト教の世界をアジアにまで拡大し、イスラム勢力を東西から挟み撃ちにする軍事目的のみであった。
- 問11 14世紀頃にイタリアの諸都市から始まり、のちにヨーロッパ各地へ広まった、古代ギリシャやローマの文化を復興させようとする動きを何といいますか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
1. 宗教改革 2. ルネサンス 3. 産業革命 4. 啓蒙思想
- 問12 16世紀にポルトガルが日本で行った南蛮貿易の背景や仕組みについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
1. カトリックの布教活動と密接に結びついており、日本からは銀が輸出され、中国産の生糸や火薬の原料などが輸入された。
2. 鎖国体制が完成したあとも、長崎の出島において唯一のヨーロッパの窓口として貿易が継続された。
3. 明の皇帝に対して日本が朝貢する形をとり、倭寇と区別するために「勘合」と呼ばれる札が使用された。
4. 江戸幕府から朱印状を与えられた商人が中心となり、タイやベトナムなどの東南アジア諸国との間で展開された。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 バテレン追放令	豊臣秀吉は、キリスト教の布教が日本独自の秩序を乱すと考え、宣教師（バテレン）を国外へ追放する方針を打ち出しました。これがのちの江戸幕府によるキリスト教禁止政策（禁教）の先駆けとなりました。
問2	答え 2 書院造	桃山文化の建築では、軍事拠点である城郭の中に、武士の対面や生活の場として「書院造」が取り入れられました。室町時代に萌芽が見られたこの様式は、この時期に完成され、権威を象徴するために金箔を多用した障壁画などが施されました。平安時代の貴族の住居である寝殿造などとは、その構造や装飾性が大きく異なります。
問3	答え 4 豊臣秀吉	織田信長が本能寺の変で倒れた後、その遺志を継いで1590年に全国統一を成し遂げたのが豊臣秀吉です。秀吉は「関白」や「太閤」の位に就き、全国規模での検地や刀狩、さらには朝鮮への出兵など、強力な権限を背景とした政策を次々と実行に移しました。
問4	答え 2 ルターが聖書を信仰の唯一のよりどころとするよう説き、この動きはやがてプロテスタントと呼ばれる新教の誕生につながった。	16世紀、ドイツのルターは、教会が資金集めのために販売していた「免罪符（贖宥状）」を批判し、人間が救われるのは教会の儀式ではなく聖書に記された神の言葉を信じることのみであると主張しました。これが宗教改革の始まりであり、従来の旧教（カトリック）に対して新教（プロテスタント）が成立するきっかけとなりました。
問5	答え 1 豊臣秀吉	織田信長の後を継いで全国統一を達成した人物です。大坂城を築いて政治の拠点とし、太閤検地や刀狩を通じて武士と農民の身分を明確に分ける「兵農分離」を推し進め、近世社会の基礎を築きました。
問6	答え 3 当時の中国（明）では、税を銀で納める制度が普及し、銀の需要が非常に高まっていたため。	当時の中国（明）では、一条鞭法（いちじょうべんぼう）という、複雑な税制を銀に一本化して納める制度が広まっていました。このため、中国国内では銀が慢性的に不足しており、日本産の銀は生糸などの対価として非常に有利に取引されました。この需要の高さが、日本からの大量の銀輸出を支える要因となりました。
問7	答え 3 藤原純友の乱、承久の乱、応仁の乱、関ヶ原の戦い	藤原純友の乱は平安時代中期の10世紀に発生しました。その後、1221年の鎌倉時代に後鳥羽上皇が挙兵した承久の乱、1467年の室町時代に足利将軍の跡継ぎ問題をきっかけに始まった応仁の乱、そして1600年の安土桃山時代に徳川家康と石田三成が対立した関ヶ原の戦いと続きます。それぞれの時代区分（平安・鎌倉・室町・安土桃山）と出来事を結びつけて整理することが重要です。
問8	答え 2 明の征服を目指して大陸へ出兵したが、秀吉の病死により撤退した	豊臣秀吉は天下統一を成し遂げた後、さらなる領土の拡大と明の征服を目的として、二度にわたって朝鮮半島へ大軍を送り込んだ。これが文禄・慶長の役である。この出兵は現地の抵抗や明の援軍により難航し、1598年に秀吉が病死したことで日本軍は引き揚げ、終結した。種子島への鉄砲伝来（1543年）はこの出兵より前の出来事である。
問9	答え 4 一筆の土地につき一人の耕作人を検地帳に登録する「一地一作人の原則」により土地の権利を確定させ、荘園領主などの中間搾取を排除して年貢を確実に徴収することを目指した。	太閤検地の大きな特徴は、一筆（一区画）の土地に対して一人の耕作者を定め、それを検地帳に記載したこと。これにより、平安時代から続いていた複雑な荘園制度が崩壊し、農民が直接、秀吉（天下人）や大名に対して年貢を納める仕組みが作られました。石高制の導入により、農民は生産量に見合った軍役などの義務を負うことになり、社会の安定と兵農分離が進みました。また、この政策を支えるために全国で「京枅（きょうます）」という統一された枅が使われ、度量衡の統一も図られました。
問10	答え 1 中東地域を支配していた勢力が貿易を仲介し、価格を釣り上げていたため、その仲介を排除して直接取引を行うことを目指した。	当時のアジア貿易は、地中海東部や陸路においてイスラム商人が重要な役割を果たしており、彼らの仲介によって商品の価格が大きく跳ね上がっていました。ヨーロッパ諸国は、こうした仲介者を介さずに直接アジアの物産を入手することで、莫大な利益を得ようとしていました。この動きが、大航海時代における日本への来航や、その後の南蛮貿易へとつながっていきました。
問11	答え 2 ルネサンス	14世紀のイタリアでは、それまでの神を中心とした中世の考え方に対し、人間中心の生き方を目指す動きが生まれました。この動きは「文芸復興」とも訳され、古代ギリシャやローマの古典文化を理想として、絵画・彫刻・文学など多岐にわたる分野で新しい文化が創造されました。
問12	答え 1 カトリックの布教活動と密接に結びついており、日本からは銀が輸出され、中国産の生糸や火薬の原料などが輸入された。	ポルトガルによる南蛮貿易は、キリスト教（カトリック）の布教と貿易の利益が一体となって進められました。ポルトガルの商人は布教を許可する大名（キリシタン大名など）と優先的に取引を行いました。当時の日本は世界有数の銀の産出国であり、銀を輸出する代わりに、当時の軍事技術に不可欠な鉄砲や火薬、さらに高級品である中国産の生糸などを入手していました。